

より過ごしやすい空間へ
防水と屋上緑化を考える



信頼のクオリティを
人と街へ
田島ルーフィング
グループ



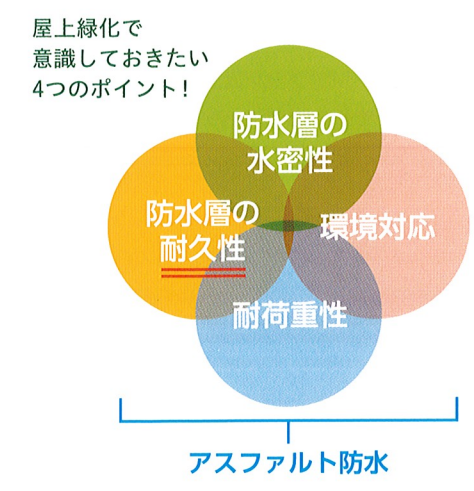
多彩な植物が演出する 意匠性豊かなルーフガーデン

植栽する植物を問わない「Gウェイブ」は、様々な屋上の条件にフレキシブルに対応する緑化システムです。防水層から植栽まで、総合的に考える田島ルーフィングならではのシステムが、安全かつ、美しい屋上を創ります。

より高い防水機能が、 より安全な 屋上緑化に繋がる

漏らさず、丈夫で長持ち。
アスファルト防水は、屋上緑化に最適

屋上を緑化する際、最も意識しておきたい防水層の耐久性。点検・修理に大きなコスト(時間・費用)がかかる防水層ですが、耐久性が高ければ、メンテナンスの間隔が長くなり、コストの節約に繋がります。



風に負けない 耐風圧性能が必要

屋上には風が吹く。
だから、複雑な風力からグリーンを守る

気候や風土、建物や植物の高さにより、風圧のかかり方は変わります。そこで耐風対策はそれぞれの環境を考慮して、慎重に立てる必要があります。

風圧力 3,000~5,000 N/m²

接着力 FDトレイン/エコムテープ 10,000 N/m²

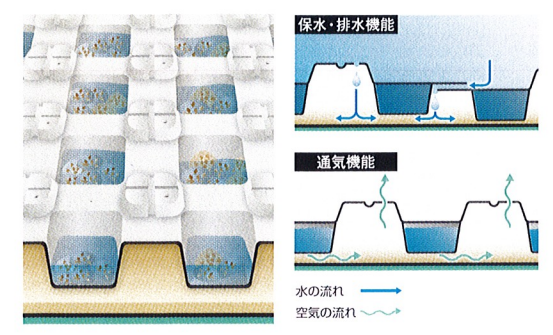
風に劣らず、根も大敵! 植物の根は驚くほど強力です。
だから、根から建物を守る高い耐根性能

自着層付耐根シート「ルートガードD」は、寸法安定性に優れ、長期に渡り根の侵入を防止します。

植物には新鮮な水と 空気が欠かせない!

保水・排水・通気の三位一体が必要だ。
だから、立体構造のFDトレインが強い味方となります

FDトレインは、保水・排水・通気の機能を持つ成型パネルです、硬質ポリスチレン製で高強度。凹部には植物に必要な水を保水し、裏面の空間は排水層となるほか、空隙部は通気層として機能します。



これからの屋上緑化のポイントは 将来の改修に備えること

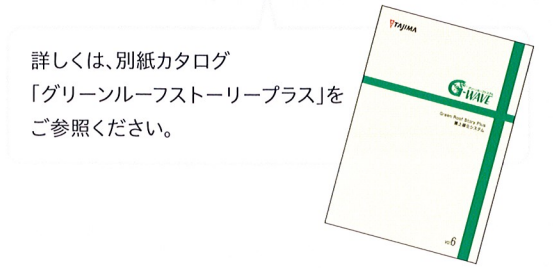
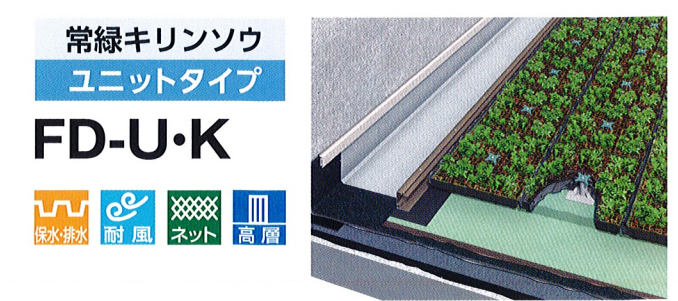
将来の防水改修の際には、屋上緑化を撤去し復旧する必要があります。

撤去復旧には工期・コストがかかるので再利用を考慮した屋上緑化が望ましいでしょう。つまり、**新築工事を計画する段階から防水改修を含め屋上緑化改修を見越した計画**をしておいた方が良いのではないのでしょうか。



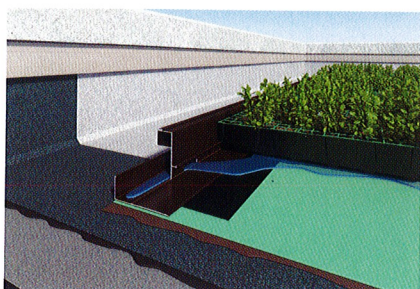
将来の防水改修を考慮した 屋上緑化システム 仕様例

あらかじめ土壌や植物がセットされた植栽ユニットを用いるFD-U工法は、防水改修時のユニット一時移設・再利用が可能です。特に常緑キリンソウを用いたFD-U・K仕様ならメンテナンスも少なくおすすめの仕様です。



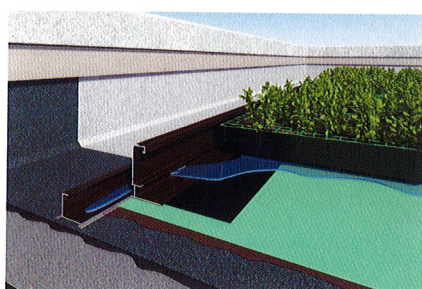
屋上緑化周辺部 汚れ防止対策のご提案

屋上緑化周辺部の汚れの原因となる植栽部からの雨水や藻水、余剰水流出経路を誘導・集約することで藻類^{ソウルイ}の発生や汚れを制御することが可能です。



■排水ガイド一体型アルミ製見切材 「FDウォールG100」

屋上緑化部からの余剰水(灌水・雨水)をルーフドレインに誘導する「排水ガイド一体型アルミ製見切り材」がFDウォール G100です。特に露出仕様の防水層の上に屋上緑化を設置する場合は、採用をお勧めします。土厚に応じてFDウォール G135・G170も用意しています。



■植栽帯からの排水誘導用金物 「RK排水ガイド」

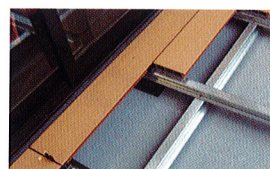
屋上植栽の周囲では、藻類の発生や、堆積などの影響で、屋上景観を低下させる事例がおこることがあります。自動灌水装置を設置した事例では発生の可能性が高くなるようです。直ちに防水層に悪影響を及ぼすものではありませんが、放置しておくとも防水層表面砂の剥離に繋がります。対策として植栽見切材の周囲にアルミ製排水ガイドを取り付けることで緩和することが可能です。

機能も充実!人が過ごしやすい空間へ『二重床システム』のご提案



■ウッドデッキによる二重床システム (FDデッキ)

FDデッキは、リサイクル材を利用した合成木材による二重床システムです。メンテナンス及びライフサイクルコストの低減により、環境にやさしいオープンスペースを作り出せます。



※デッキ仕上げ高さは150～450mmになります。
(上記以外の高さとなる場合はご相談ください。)



■PCパネルによる二重床システム (FDパネルPC600)

耐候性、耐衝撃性などに優れ、歩行用としても使える、二重床ルーフデッキシステム用のPCパネルです。安定度の高いPCコンクリートならではのバリアフリー空間の構築も可能です。



※パネル仕上げ高さは160～450mmになります。
(上記以外の高さとなる場合はご相談ください。)

田島緑化工事株式会社

<http://www.tajima-ryokkakouji.jp>

〒120-0046 東京都足立区小台 1-3-1
TEL.03-5902-5160 FAX.03-5902-5170

田島ルーフィング株式会社

<https://www.tajima.jp>

営業開発部 TEL.03-6837-8910
市場開発部 TEL.03-6837-8950